

生成 AI 活用に関するガイドライン（学生向け）（ver. 1.0）

ChatGPT 等の生成 AI は、急速に利用が広まりつつあり、さまざまな場面での応用が考えられます。大学における研究や教育にも大きな影響をおよぼすものと思われ、学生のみなさんにとっては、新たな効果的な学びが可能になるかもしれません。しかしながら、現状では、著作権侵害の可能性や情報漏洩の危険性などの懸念も示されています。

そこで、本学では以下を方針とします。

1. 論文やレポート等を生成 AI のみを用いて作成しないこと。

- 論文やレポート等のあらゆる提出物を、生成 AI のみを用いて作成することは認められません。剽窃とみなされる可能性があり、なにより、安易に生成 AI に頼ることで、本来身につけるべき知識や能力を獲得する機会を失ってしまいます。課題等の目的や内容を十分理解し、自分自身の能力を高めるようにしてください。
- 生成 AI を利用した場合は、使用箇所、使用した生成 AI の名称、どのように使用したのかを、注などに明記してください。
- 科目によっては、担当教員から、生成 AI の利用を禁止される場合もあり得ます。授業担当教員の指示に従ってください。

2. 生成 AI を利用する場合は、出力された情報が正しいかどうか、自分で確認すること。

- 生成 AI の回答は、誤った内容や不適切な内容を含むことがあります。自分の名前を出した文章は、自分が書いたものとして、責任が生じます。くれぐれも留意しましょう。

3. 個人情報の保護や研究の優先権、著作権等の保護などの点に十分に注意すること。

- 生成 AI に入力した情報は、意図せず他者に公開される恐れがあります。例えば、実習等で得た情報や未発表の論文などを生成 AI に入力すると、それらの情報が流出・漏えいしてしまう可能性があります。

※ 生成 AI の利用については、今後示される国の方針等も注視しながら、大学として適切な対応を行っていく予定です。